

社会教育・生涯学習推進状況調査回答要領

令和6年10月15日 生涯学習課

1 調査の目的

この調査は「鯖江市社会教育・生涯学習推進計画」の策定にあたり、各課における事業について「社会教育・生涯学習」という視点から事業の目的や特性を整理することで、部局の別なく様々な事業や関わっている人々を、改めて社会教育・生涯学習の「担い手」として積極的に巻き込むことによって、これまでになかった新たなアイデアや価値を生み出し、新しい地域づくりにつなげることを目的として実施します。

2 ファイルの確認

フォルダ内には下記の5つのファイルがあります。

- ・ 01_回答要領（PDF） ※このファイルです。
- ・ 02_社会教育委員会答申（PDF）
- ・ 03_社会教育委員会答申（概要版）（PDF）
- ・ 04_回答フォーム（Excel）
- ・ 05_各課回答状況（Excel）

回答に際しては、「02_社会教育委員会答申」「03_社会教育委員会答申（概要版）」を必ずお読みいただいた上でご回答くださいますようお願いいたします。

3 回答手順

- ①「01_回答フォーム」を開きます。ファイル内シート「【回答】様式」「【参考】R6 登録事務事業（抜粋）」を所管課でソートします（「リスト」は使用しません）。
- ②「【参考】R6 登録事務事業（抜粋）」を参考に「【回答】様式」の右列（赤い線で囲まれた部分）について5つの設問にお答えください
※次頁以降に設問の回答要領（6 設問について）があります。
- ③回答が終了しましたら「04_各課回答状況」を「済」にしてください。

4 回答期限

令和6年10月29日（火）午後5時まで

5 その他

- ①ご回答いただいた内容については、今後生涯学習課にて精査の上、詳細について所管課長およびグループリーダーにヒアリングを実施させていただく場合があります。
- ②ご回答いただいた内容は、「鯖江市社会教育・生涯学習推進計画」の施策として、鯖江市社会教育・生涯学習推進計画策定委員会を経て、掲載させていただく場合があります。
- ③計画への掲載に際しては、市民にわかりやすくかつ伝わりやすくするために、事業名称や事業の趣旨・目的・内容等について、所管課と合議の上、一部、加筆・修正する場合があります。

あります。

④事務事業評価以外の事業において、社会教育・生涯学習の推進がなされているものについては、後日ヒアリング等で確認させていただきます。

6 設問について

今回の調査では5つの設問に回答いただきます。それぞれ選択式と記入式があります。

Q1 この事業は市民の社会教育・生涯学習につながる事業ですか。選択肢の中からもっとも適当と思われるものを1つお選びください。

＜選択肢＞

- | | |
|------------------|-----------------|
| ・ 大いにつながる事業である | ・ ややつながる事業である |
| ・ あまりつながらない事業である | ・ 全くつながらない事業である |

今日的な社会教育は、これまでの「自己実現型」から「課題解決型」へと、その役割が変わってきています。具体的には、健康づくりや防災、まち美化など、家庭や地域における日常生活の中に学びの種が転がっているとの考えで、各種活動を続けるうちに新たな課題が見つかり、それを解決する活動につなげるという循環が生まれていきます。

決して「公民館でやっていないから違う」とか「教育委員会でないから当てはまらない」ということではありません。市長部局であっても、様々な事業で「社会教育・生涯学習」につながる事業を実施しているはずです！

＜社会教育・生涯学習の一例＞

- ・ さまざまな技術習得や教養を高めたり、生活を充実させたり、地域をよくするために行われる学習活動
- ・ 仕事をする上でその知識を深める学習
- ・ 体育・レクリエーション活動（スポーツや趣味を楽しむ活動）
- ・ 文化・芸術・芸能音楽活動
- ・ ボランティア活動
- ・ 自分の興味がある事項について調べること
- ・ 公民館での学級講座の活動
- ・ 図書館での図書閲覧
- ・ 博物館での展示や教育普及活動
- ・ 青少年の野外での自然体験活動
- ・ 子育てをする親に対する家庭教育学級
- ・ 防犯教育・防犯活動および防犯ボランティア活動
- ・ 防災に係る教育・啓発活動
- ・ 地域住民による地域づくり（まちづくり）参加
- ・ 地域の課題解決に係る活動
- ・ 地域の教育力向上に資する活動

- ・環境保護活動を行うNPOへの支援
- ・ボランティアによる「単身高齢者宅の雪かき作業」
- ・積極的なPTA活動
- ・図書館における読み聞かせなどの児童に向けたサービス
- ・課題解決に対する支援
- ・社会教育活動を支援・促進するための施設や団体を支える事業 など

回答に際しては、「社会教育・生涯学習」という意味合いの捉え方を難しく感じる場合があるかと思いますが、現在各課（室）にて取り組まれている事業の内容や目的が、

地域課題や社会問題に関する「学び」を通じて、市民の意識を高め、地域づくりの「実践」に結びつくように努めている事業であるかどうか

という視点から改めて精査いただき、ご回答ください。

Q2 この事業の実施目的は次の選択肢のどれに当てはまりますか。選択肢の中からもっとも適当と思われるものを1つお選びください。

＜選択肢＞

- ・社会教育・生涯学習につながる「環境の整備」
- ・社会教育・生涯学習につながる「機会の提供」
- ・社会教育・生涯学習につながる「成果を生かす仕組みづくり」
- ・それ以外、どれにも当てはまらない事業

＜社会教育・生涯学習につながる「環境の整備」について＞

誰もが学びやすい環境の充実を図り、市民の「つながりづくり」を推進するべく、社会教育・生涯学習推進体制の整備と、社会教育施設の維持・管理や整備の方向性に係る取組みに関する事業です。

＜社会教育・生涯学習の「機会の提供」について＞

社会教育・生涯学習を通じた「人づくり」の推進に向け、現代的課題を追究するとともに、時代の流れ（人生100年時代、ウェルビーイングの実現、デジタル社会への対応等）に合わせた教育および学習機会のあり方を検討し、様々な年代の市民の活動を総合的に支援するための取組みを位置付ける事業です。

＜社会教育・生涯学習につながる「成果を生かす仕組みづくり」＞

社会教育・生涯学習を通じた「地域づくり」の推進に向け、習い・学びの成果を地域に還元するとともに、コミュニティ形成やボランティア活動の推進に資するネットワークづくりに向けた取組みを位置付ける事業です。

Q3 この事業は個人を豊かにすることと、社会や地域を豊かにすることとどちらを目指すものであると思われますか。選択肢の中からもっとも適当と思われる割合をお選びください。

＜選択肢＞

- ・個人を豊かにする事業（0～10）、社会や地域を豊かにする事業（0～10）

※それぞれを比率で回答

今回の答申では、社会教育に関わるすべての人たちが共有すべき指針として

「教育は、個人を豊かにすることに始まり、社会を豊かにすることを目指す」

ことが示されました。学びと実践活動を繰り返し継続することで、個人を豊かにし、そして繋がりをづくり、それが地域を豊かにする、この循環を創造していこうとするものです。

持続可能な社会づくりを進めるためには、行政だけでなく、企業や大学、まちづくり団体、個人など様々な主体が、それぞれの立場から取り組むことが重要だと言われています。地域においては、行政＝サービスの提供者、住民＝サービスの享受者という二分論の役割分担によるのではなく、住民自らが担い手として社会教育・生涯学習に関わりながら、より良い地域づくりを進めていくことが必要であると思われます。

Q4 この事業の主な対象は誰ですか（記入式）

事業を実施する上での対象を記入してください。

- （具体例）
- ・今年度20歳を迎える方（はたちのつどい）
 - ・小学生、中学生（放課後子ども教室推進事業）
 - ・小学生、中学生とその保護者（光でつなぐ家族の絆事業）
 - ・市民（公民館各種学級運営事業）

なお対象を記入することが難しい場合は未記入としてください。

Q5 この事業を連携して実施している、または連携が考えられるセクション（課・室）または施設や団体などを教えてください。（記入式）

現在、実施している事業において社会教育や生涯学習を推進していくためには、地域住民をはじめ、町内会や区長会等の地縁組織、NPO法人、ボランティア団体、福祉施設、まちづくり団体など地域活動団体のほか、教育委員会、市長部局、社会教育施設（公民館・図書館・博物館・体育館等）、企業、学校・大学といった地域のさまざまな担い手と連携・協働することが大切です。

本市が誇る「市民力」と「地域力」を高めながら、力強くまちづくりを進めていくために

も、連携・協働をすすめていきましょう。

現在、連携していなくても問題ありません。単純に「〇〇で事業を行っているから」ということだけでなく、セクションや施設、団体など、それぞれの主体の特性が組み合わさることで、活動の機能を高めたり、活動の支援やPRをしたりするなど、相乗効果が生み出されることを想定しながら、関連先を記入してください。

7 この件に関する問合先

鯖江市教育委員会 生涯学習課 担当：川江、澤村（内線 833）